

# 小型電気温水器 (先止め式)

EHPN-F6N4

商品の機能が十分発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

この説明書は、施工完了後、お客さまにお渡しください。  
また定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。



## 施工時には必ずお守りください

以下は安全のための注意です。施工前に必ず読み、施工時に必ずお守りください。  
この説明書では、誤った施工による事故を未然に防ぐため、工事者または使用者の安全に関する注意事項にマークをつけて表示しています。  
マークの意味は次の通りです。施工前によく読み正しく施工してください。

### ●用語および記号の説明

	<b>警告</b>	作業を誤った場合に、設置作業者が、又は設置工事の不具合によって人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
	<b>注意</b>	施工を誤った場合に、人が傷害を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。
		「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
		「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
		「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)
		「必ずアース接続をしなさい!」

<b>警告</b>	
	●アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者(電気工事士)」によるD種接地工事(100Ω以下)を行ってください。 また漏電遮断器を設置してください。 ※故障や漏電時に感電の恐れがあります。
	●使用する電源、消費電力を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。 ※火災の原因となります。
	●屋外には設置しないでください。 ●屋内でも水がかかったり、表面に結露が生じたりするような湿気の多くなる所、特に浴室やシャワールームには設置しないでください。 ※故障や感電の原因となります。
	●修理技術者以外の方は、絶対に分解・修理は行わないでください。 ※火災や感電の原因となります。
	●内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。 ※火災や感電の原因となります。
	●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っばったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 ※電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。
	●水道水(水道事業者が供給する上水)以外の水を使用しないでください。 ※早期に機器が破損し、感電・漏水の原因となります。

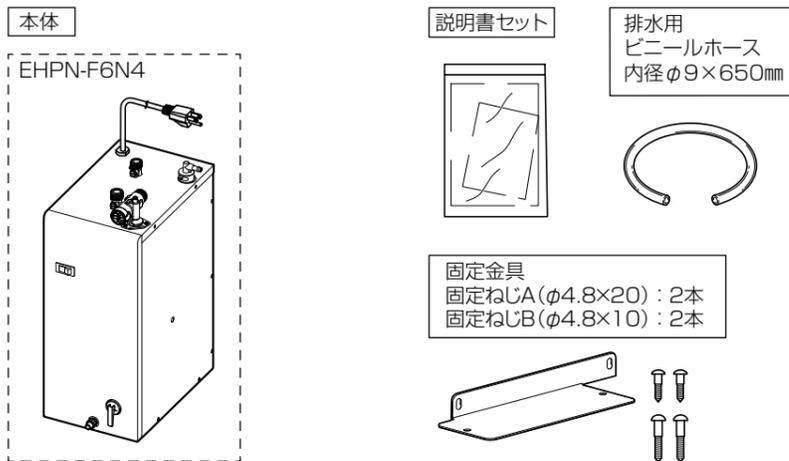
<b>注意</b>	
	●必ず機器内のタンクを満水にしてから、運転スイッチを「入」にしてください。 ※機器の破損やヤケドの恐れがあります。
	●機器を横にしたり、上下を逆にした状態で設置しないでください。 ●車両や船舶内に設置しないでください。 ※機器の故障、ヤケド、漏電、漏水の恐れがあります。
	●この機器は太陽熱温水器や、他の給湯機器との接続はしないでください。 ※機器が破損し、漏水の恐れがあります。
	●機器を水栓より上に設置しないでください。 ※機器が破損し、漏水の恐れがあります。
	●この機器は、給水圧力0.05(流動圧)~0.75MPa(静水圧)の範囲でご使用ください。 ※水圧が高い地域に設置した場合、止水時に缶体内部の水圧が高くなり、膨張水口から水がふき出し続ける恐れがあります。
	●膨張水口からの膨張水排水ホース(黒)は、確実に配管施工してください。 ※漏水の恐れがあります。
	●水栓への接続は1ヵ所までにしてください。2ヵ所以上に接続しないでください。 ※水栓から湯が出なかったり、著しく出が悪くなったりする恐れがあります。
	●凍結の恐れがある場合は、機器の水抜きを行ってください。 ※機器の漏水や破損の原因となります。
	●新築・改修工事後や、水道断水の復旧後、必ず配管内の空気を抜いてください。 ※配管内に空気が混入した状態で給水器具を使用すると、器具・配管の破損や故障の原因となり、けがをしたり水漏れによって建物、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	●機器に強い力や衝撃を与えないでください。 ※故障や漏水の原因となります。
	●排水器具の下流側の排水管にトラップ構造を設けないでください。 ※ダブルトラップで排水不良となり、排水器具から漏水する恐れがあります。

## 1.仕様

品番	EHPN-F6N4
本体寸法(突出部寸法含む)	幅175mm×奥行290mm×高さ447mm
本体質量(満水時)	約5kg(約11kg)
給水方式	先止め式
使用水圧範囲	0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧) ※自動水栓と組み合わせる場合は流動圧で0.1MPa以上
減圧弁設定圧力	0.08MPa
逃し弁設定圧力	吹き始め: 0.097MPa 吹き止り: 0.09MPa
電源コード	有効長さ1.5m 接地極付タイプ
定格電圧	AC100V (50/60Hz)
ヒーター能力	450W
タンク容量	約6L
出湯温度	約60℃
わかあげ時間	約42分 (15~60℃)
発熱体構造	シーズヒーター
自動温度調節器	バイメタル方式(自動復帰式)
温度過昇防止器	バイメタル方式(手動復帰式)
使用可能雰囲気温度	0~40℃ (ただし凍結しないこと)

## 2. 同梱品・別梱品一覧

施工前に同梱部品を確認してください。



## 3. 別売品一覧

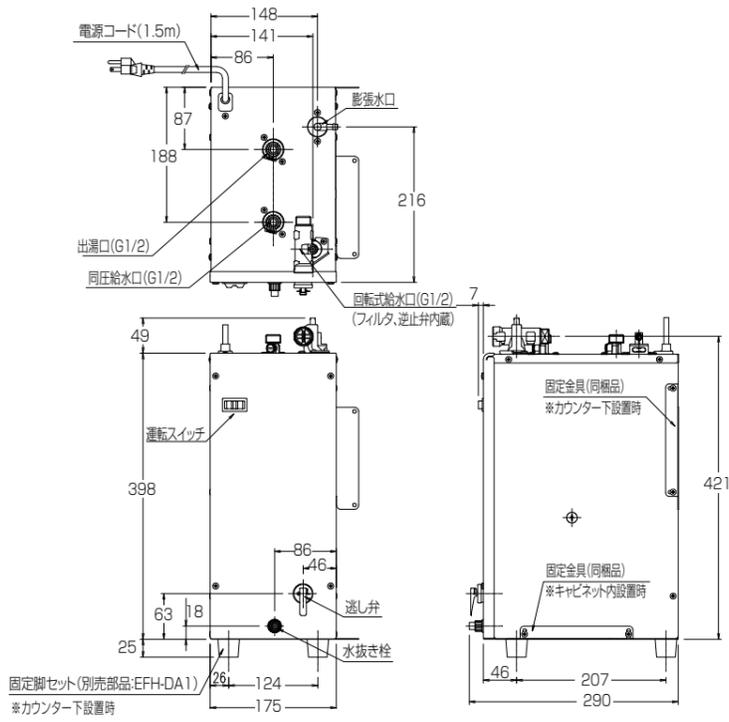
☆は必要別売部品

品名	品番	備考	外観概略
☆ フィルター付止水栓	ELF-3EK	壁給水用	壁給水用
	ELF-3SEK	床給水用	床給水用
☆ 排水器具	EFH-4/PT EFH-4	カウンター用 (/PTはグレー色)	膨張水排水ホース (黒色) (内径φ7×500mm)入り ※図はEFH-4/PT
	EFH-4K	化粧台用	
	EFH-4-25/PT	φ25排水管対応用	
膨張水排水ホース(黒)	EFH-1M	内径φ7mm×1m、黒色	排水器具に同梱されているホースは、長さ500mmです。長さが足りない場合に手配してください。ホースバンドは、排水金具に同梱のものをご使用ください。
固定脚	EFH-DA1	カウンター下など床上に直接設置する場合に使用	4個入り
固定金具	EFH-KK1	カウンター下に壁から離して設置する場合に使用	固定ねじ(φ4.8×20):4本
自動水栓接続継手	FH-K3	自動水栓(サーモスタット付タイプ)を壁固定して接続する場合に使用	固定ねじ(皿A4×20):6本
L型接続継手	EFH-HK2	出湯・同圧給水方向を90度曲げたい場合に使用	
排水曲り管(φ32mm)	EFH-HM1	排水芯から壁面までの距離が短い場合に使用 (Pトラップ用)	【設置条件】洗面器排水芯から壁面の距離 ・EFH-HM1:140~223mm ・EFH-HM1-25:160~233mm
排水曲り管(φ25mm)	EFH-HM1-25		
ウィークリータイマー	EFH-TM4	電気温水器へ通電する時間を設定する場合に使用	

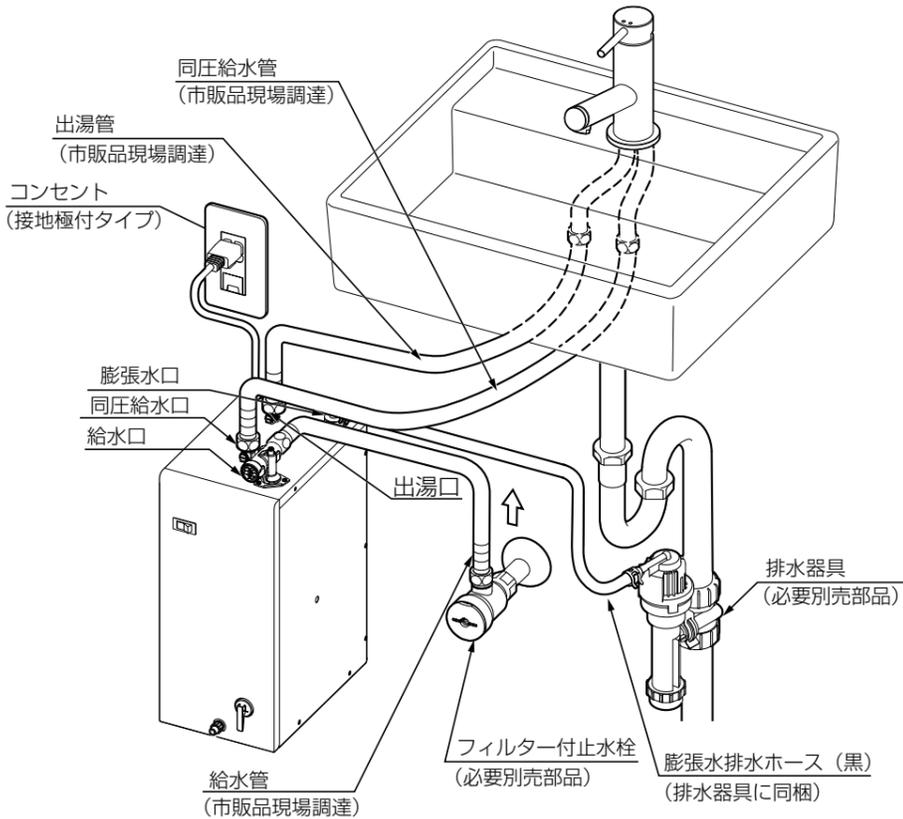
### その他現場での調達品

ステンレスフレキシブル管(1/2B、呼び径13mm)、1/2B耐熱シートパッキン、ニップル、シールテープ

## 4. 寸法図



## 5. 標準施工例図



## 6. 取付け手順

※電気温水器を取り付ける前に、洗面器、カウンターや水栓金具をそれぞれの施工説明書に従って取り付けてください。

### <取付けの流れ>

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| ①フィルター付止水栓の取付け            | ④機器への配管         |
| ②機器への固定金具および固定脚の取付け       | ⑤膨張水排水ホース(黒)の接続 |
| ③給水管、出湯管、膨張水排水ホース(黒)の長さ確認 | ⑥床面もしくは壁面への固定   |

### 離隔距離について

この温水器は、「消防法告示第一号(対象火気設備等及び火気器具等の離隔距離に関する基準)」に適合しています。建築物の可燃物等からの離隔距離は表に掲げる値以上の距離を保ってください。さらに修理点検の際に必要なメンテナンススペースも確保してください。

消防法基準適合組込型					
可燃物からの離隔距離 (cm)					
上方	左方	右方	後方	下方	前方
0	0	0	0	0	0

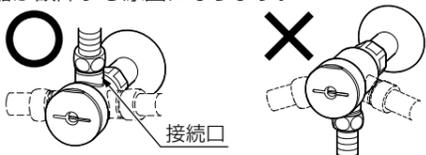
### 6-1. フィルター付止水栓の取付け

給水管に当社フィルター付止水栓(必要別売部品)を取り付ける。

- 必ず当社フィルター付止水栓を取り付けてください。  
※機器内にゴミが入り、故障の原因になります。

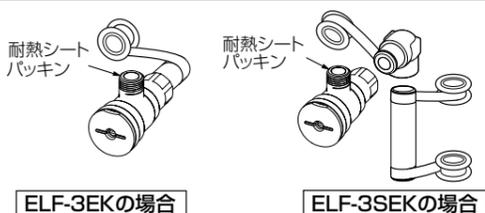
- 接続口が上向きまたは横向きになるように接続してください。  
※下向きに取り付けるとフィルター清掃時の配管のゴミが入り、機器が故障の原因になります。

### 注意



- 給湯配管に使用しないでください。(給水配管専用です。)  
※故障の原因になります。

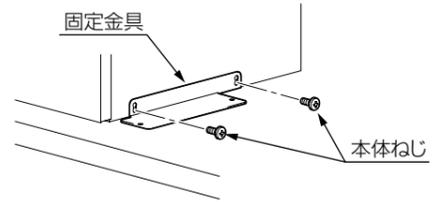
※ねじ部にシールテープ等のシール材を巻きつける。  
〔電気温水器と接続する接続部は耐熱シートパッキンを使用する。〕



## 6-2. 固定金具および固定脚(カウンター下設置の場合のみ)の取付け

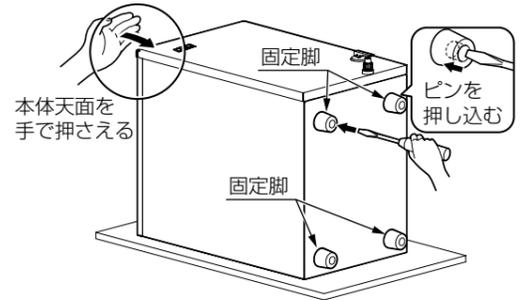
### 【(A)キャビネット内設置の場合】

- 固定金具(付属品)を取り付ける。  
機器下部のねじを用います。  
※固定金具は左側にも取り付けられます。



### 【(B)カウンター下設置の場合】

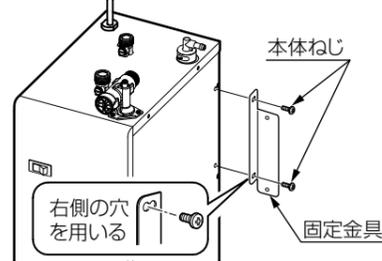
- ①固定脚(EFH-DA1、別売品)を取り付ける。  
※ダンボール等を下に置き、機器を寝かせた状態で作業してください。



- ②機器本体に固定金具を取り付ける。

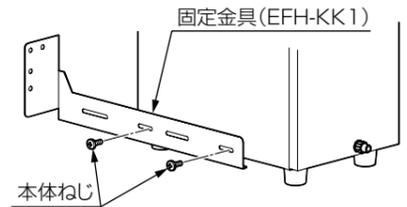
#### 【壁面に直接固定する場合】

- 機器側面のねじで共締めする。  
※固定金具は左側にも取り付けられます。



#### 【配管等があり壁面に直接固定できない場合】

- 別売品の固定金具(EFH-KK1)を準備して、機器下部のねじで共締めする。



- ⚠注意 機器へのねじの取付け、取外しは手回しドライバーで行ってください。  
※インパクトドライバー等を用いると、ねじ部の破損の恐れがあります。

## 6-3. 機器への配管

- この機器は、0.75MPaを超える高水圧地域では使用しないでください。  
※機器が破損し、漏水の恐れがあります。

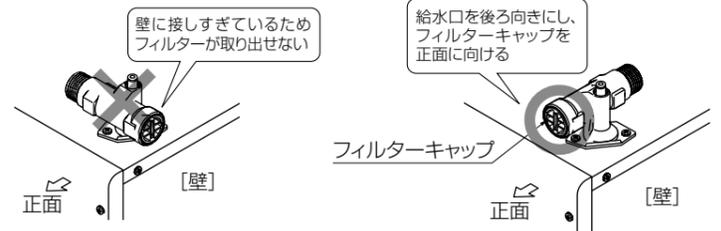
- ステンレスフレキシブル管の接続は必ずスパナ2丁を使用するなどして、取り付ける相手の機器に無理な力がかからないよう注意して接続してください。  
また接続部には、必ず耐熱シートパッキン(以下パッキンと呼ぶ)を使用して接続してください。  
※漏水の恐れがあります。

### 注意

- 給水、出湯、同圧給水の配管はそれぞれ1m以内にしてください。  
※水栓から出る湯(水)の勢いが著しく弱くなる場合があります。
- 機器を接続する前に、20L程度水を流し、配管内のゴミ等を取り除いてください。  
※機器にゴミが侵入し、故障の恐れがあります。
- 機器への配管は、市販のステンレスフレキシブル管(1/2B、呼び径13mm)を使用してください。
- 機器を接続する前に、配管の漏水・耐圧検査を実施してください。

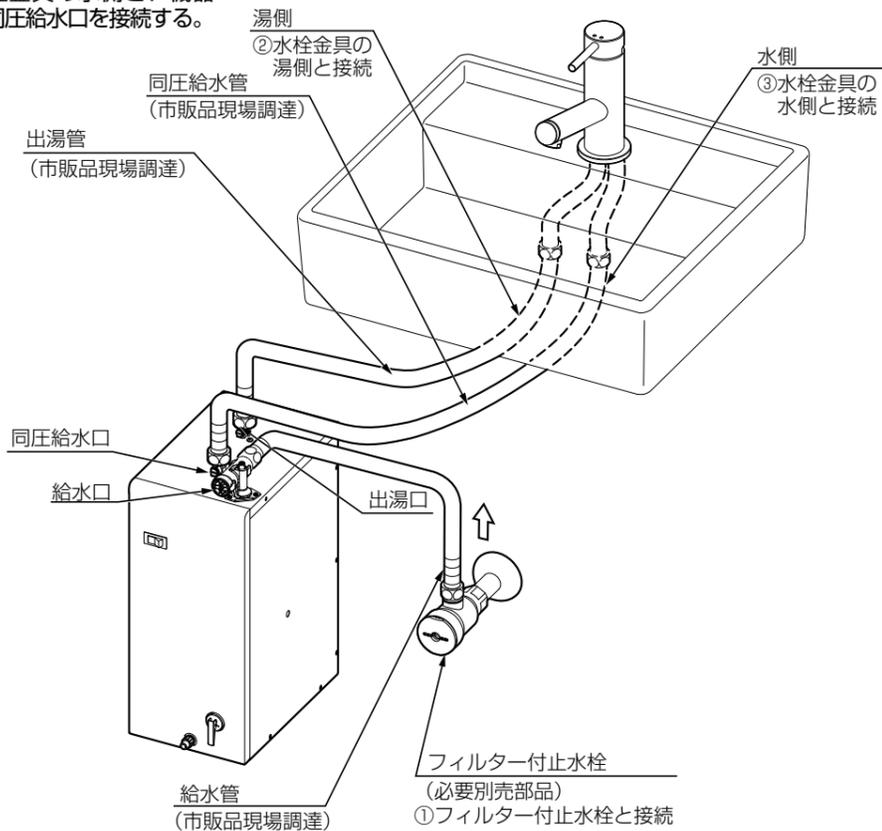
### 【右壁に接するように設置する場合】

- ⚠注意 本体上部の給水口を左向き、フィルターキャップを右壁に向けて設置するとフィルター掃除ができなくなりますので、給水口を後ろ向き、フィルターキャップを正面に向けてください。



**【(A)混合水栓への取り付け】**

- ①フィルター付止水栓と、機器の給水口を接続する。
- ②水栓金具の湯側と、機器の出湯口を接続する。
- ③水栓金具の水側と、機器の同圧給水口を接続する。



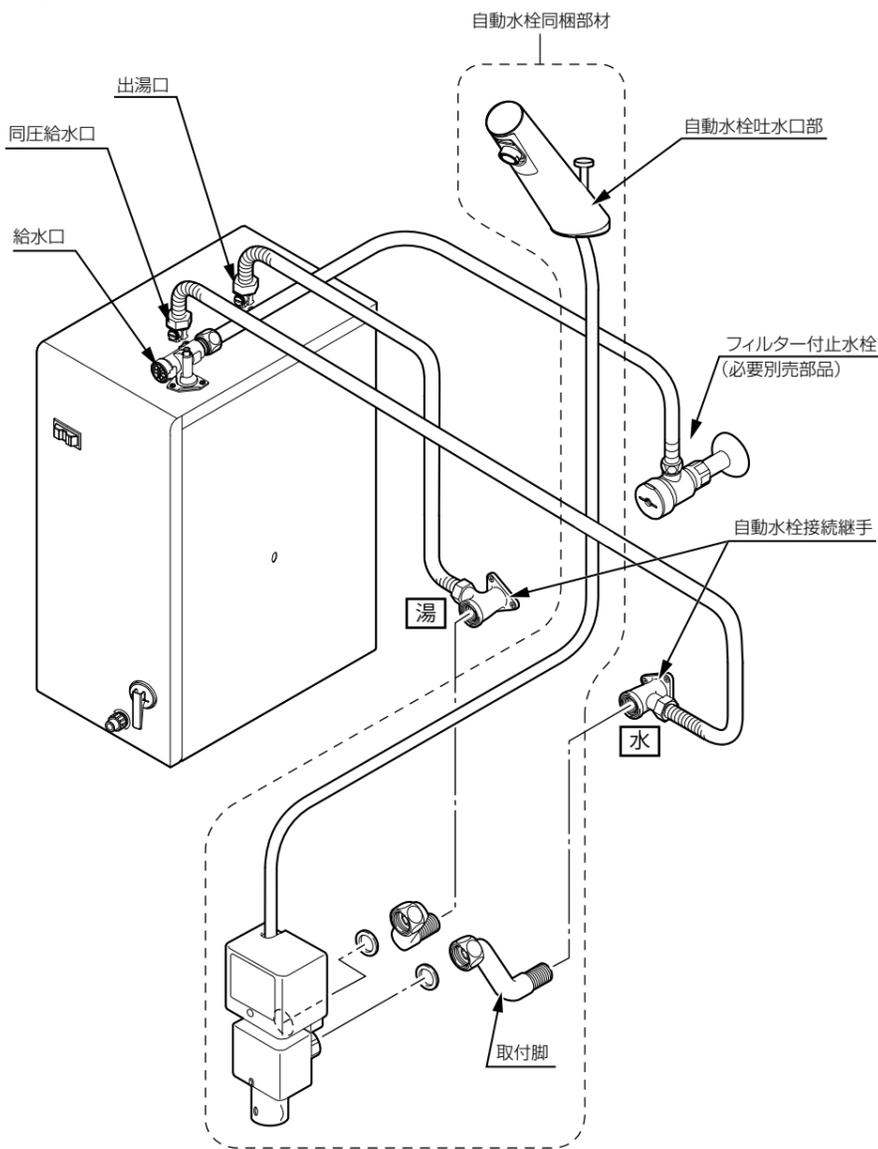
**注意** 機器の同圧給水口と出湯口を逆に接続しないでください。  
※高温のお湯が出て、ヤケドの原因になります。

**【(B)自動水栓 (サーモスタット付タイプ) への取り付け】**

- 別売部品の自動水栓接続継手FH-K3を準備してください。
- 現場の流動時給水圧力が0.1MPa以上が必要です。

**注意** 自動水栓の定流量弁は必ず取り外してください。  
※流量が不足する恐れがあります。定流量弁の位置については、自動水栓の施工説明書を参照ください。

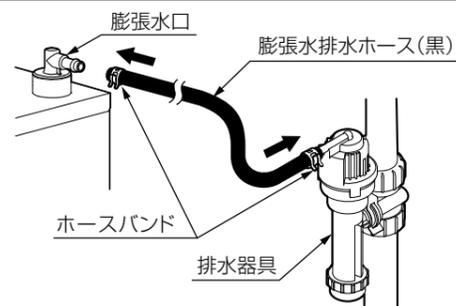
- 自動水栓接続継手FH-K3の施工説明書に従い配管接続をする。



**6-4. 膨張水排水ホース (黒) の接続**

**注意** 膨張水排水ホース (黒) は確実に配管施工してください。  
※漏水の恐れがあります。

膨張水排水ホース (黒) を、機器の膨張水口に接続する。



- 別売の排水器具を準備してください。
- 排水器具の取付けは、排水器具付属の施工説明書をご覧ください。
- 必ずホースバンドを取り付けてください。

- 排水器具に付属の排水ホース (黒) が、膨張水口まで届かない場合は、別売の膨張水排水ホース (黒) (EFH-1M、内径φ7×1m) を使用してください。
- 膨張水排水ホース (黒) の長さは1m以内としてください。
- 排水器具のホース接続口が膨張水口より高い位置にあっても、膨張水の排水に影響ありません。

**6-5. 機器の固定**

**注意** 機器の前扉を壁面に向けて設置しないでください。  
※メンテナンスができなくなります。

**【(A)キャビネット内設置の場合 (床固定)】**

キャビネット内の補強木の位置を確認し、付属のねじで補強木に固定する。

**注意** 底板下に使用者が触れる可能性がある空間がある場合には、ねじの先端が飛び出さないよう、用意する合板の厚さやねじ止めする位置に注意して施工してください。

【固定金具取付部の下に補強木がある場合】	【固定金具取付部の下に補強木がない場合】
補強木に固定する。	別途取付板 (9mm) を準備し固定します。

**【(B)カウンター下設置の場合 (壁固定)】**

【壁に直接固定する場合】	【配管等があり壁面に直接固定できない場合】
付属の固定ねじA 2本で固定する。	固定金具 (EFH-KK1) 付属の固定ねじ 4本で固定する。

**7. 電気工事**

- 漏電遮断器を必ず設置してください。
- 必ずアースを接続してください。
- アース工事は電気設備技術基準等、関連する法令・規則等に従って、必ず「法的有資格者 (電気工事士)」によるD種接地工事 (100Ω以下) を行ってください。  
※故障や漏電時に感電の恐れがあります。

**注意** ●内部配線や電源コードの切断・圧着は絶対に行わないでください。  
●内部配線や電源コードを補修する必要がある場合は、現場で加工せず専用補修部品と交換してください。  
●使用する電源・ヒーター能力 (定格消費電力) を本体の定格銘板で確認し、必ず適した配線をしてください。また電源プラグの変更は絶対に行わないでください。  
●コンセントの電圧を必ず確認してください。100V用コンセントに200Vが供給されている場合は、電気工事をやり直してください。  
※感電や火災の原因になります。

- ①本機器専用に「接地極付コンセント」を用意する。  
機器の取付位置より 1.5m 以内の所にコンセントを設けてください。
- ②コンセントにD種接地工事を行う。

品番	定格電圧	ヒーター能力	コンセント形状	推奨コンセント (パナソニック製)
EHPN-F6N4	AC100V	450W		WN1101 WF3002B/WK WF3003B/W

**注意** 形状の違うコンセントが取り付けしていた場合は、コンセントを取り替えてください。機器の電源プラグの変更はできません。

## 8. 施工後の確認・処置

### 8-1. 膨張水排水ホース（黒）の確認

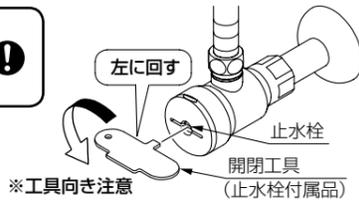
機器の取付けが完了したら、以下の点を確認して、必ず膨張水排水の配管が行われていることを確認してください。

- ①専用の排水器具が取り付けられていること。
- ②排水器具が目視で垂直に取り付けられていること。
- ③排水器具と機器の膨張水口が確実に接続されていること。

### 8-2. 通水確認

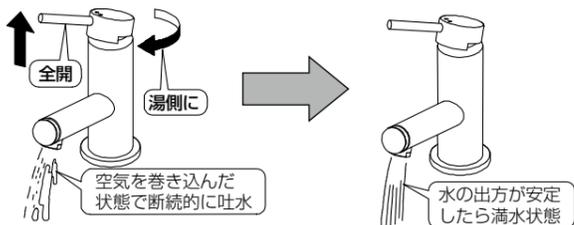
**注意** 必ず機器内のタンクを満水にしてから、運転スイッチを「入」にしてください。  
※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。

- ①給水・給湯配管が確実に接続されていることを確認する。
- ②開閉工具（止水栓付属品）を用いて止水栓を開ける。
- ③水栓金具の湯側を全開にして吐水する。



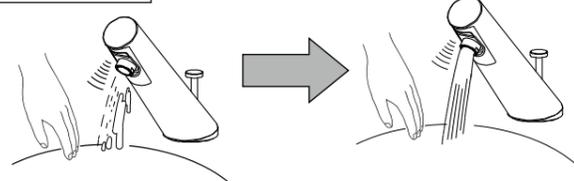
### 吐水が安定するまで続けてください

#### 混合水栓の場合



タンクが満水になるまで約2分かかります。

#### 自動水栓の場合



自動水栓の場合、吐水口の下に手をかざし続けてください。止水したら、再度手をかざし、吐水が安定するまで続けてください。

**注意** 湯水切替タイプの自動水栓の場合、必ず湯側で通水してください。  
※機器に給水されず、空だきの原因になります。

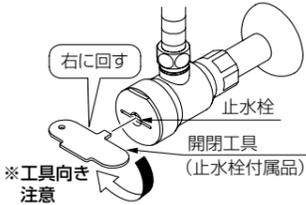
- ④(混合水栓の場合)水栓金具の水側についても同様の操作を行う。
- ⑤水栓金具を閉め、各部に漏れがないか確認する。

### 8-3. フィルターの掃除

機器の設置初期に、配管内を流れてきたゴミがフィルターに詰まって、湯や水の出が悪くなる場合があります。通水確認後に、フィルターの掃除を行ってください。

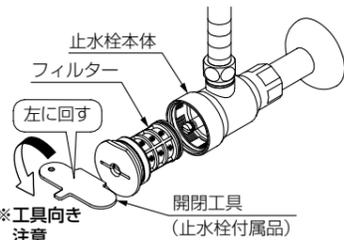
- ①開閉工具（止水栓付属品）を用いて、止水栓を閉める。

**注意** 必ず止水栓を閉めてください。  
※漏水の恐れがあります。



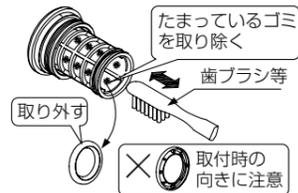
- ②開閉工具（止水栓付属品）を用いて、フィルターを取り外す。

フィルターを取り外すと、止水栓から水がこぼれます。止水栓下部に洗面器等を置いて水を受けてください。



- ③フィルターおよび止水栓本体を清掃する。

#### フィルター部



#### 本体部



- ④取外しと逆の手順でフィルターを取り付ける。

フィルターの掃除を行っても湯量が増えない場合は、「9. 水抜き方法」にしたがって水を抜いた後に、ストレーナーの掃除を行ってください。

- ⑤マイナスドライバー等を使用してストレーナーを取り外す。ストレーナーを外すときは、少量の水がこぼれるので、取外し部にタオル等をあてがいがながらストレーナーを取り外す。

- ⑥ストレーナーの網目に詰まったゴミをブラシ等で取り除き、水洗いする。
- ⑦取外しと逆の手順でストレーナーを取り付ける。

掃除完了後、ストレーナーは確実に取り付け、「8-2. 通水確認」にしたがって通水し、水漏れのないことを確認してください。  
※不明な点がありましたら、LIXIL修理受付センターにご相談ください。有料にて掃除いたします。

### 8-4. 流量調整

- 開閉工具（止水栓付属品）を用いて、流量調整をする。

止水栓を回して、洗面器から水ハネしたりオーバーフローしたりしないようにします。

**注意** 必ず止水栓で流量調整してください。  
※水ハネや湯切れなど、トラブルの原因になります。

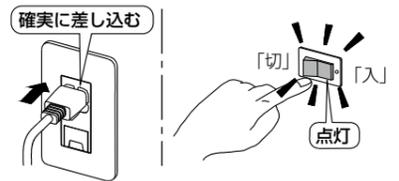


#### 【自動水栓との組合せ時】

止水栓は全開まで回し、自動水栓側の流量調整栓で流量調整を行います。  
※詳しくは、自動水栓の施工説明書を参照ください。

## 8-5. 機器への通電

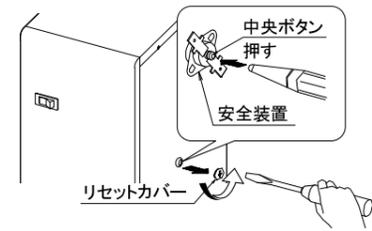
**注意** 必ず機器内のタンクを満水にしてから、運転スイッチを「入」にしてください。  
※機器の破損や、ヤケドの恐れがあります。



- ①電源プラグをコンセントに確実に差し込む。
- ②運転スイッチを「入」にする。

#### 【運転スイッチを「入」にしてもお湯にならない場合】

安全装置が作動していることが考えられます。いったん運転スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、機器本体のリセットカバーをドライバーで取り外し、ボールペンの端などで機器内にある安全装置の中央ボタンを押し込んでください。詳しくは取扱説明書をご覧ください。



**注意** 運転スイッチが「入」のままで、リセットカバーを外さないでください。  
※感電の恐れがあります。

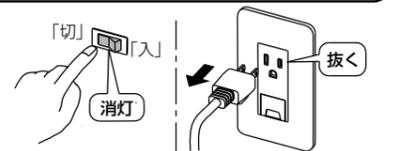
#### 【取外し時、取付け時の注意】

取外し時：リセットカバーを反時計方向に回すと、約1回転で外れます。  
取付け時：リセットカバーを時計方向に回すと、約1回転で取付きます。  
※リセットカバーの締め込みすぎに注意してください。

## 9. 水抜き方法

機器の設置後、引渡しまでに凍結の恐れがある場合は、以下の手順で機器の水抜きを行ってください。

- ①運転スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。



- ②水栓金具の湯側を全開にして、吐水が水になるまで流し続ける。



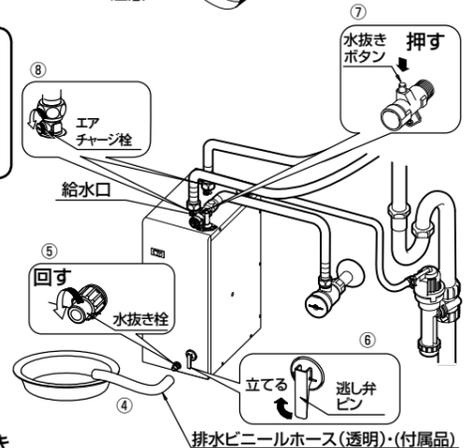
**注意** 必ず機器内の湯を出し切ってください。  
※機器内に湯が残っていると、水抜き時にヤケドの恐れがあります。

- ③水栓金具を開けたまま、止水栓を閉める。
- ④付属の排水用ビニールホース（透明）を水抜き栓に差し込み、反対側はトレイ等で受ける。
- ⑤水抜き栓を開ける。  
※水抜き栓を左に回します。固くて回しにくい場合はペンチ等を使用してください。



**注意** 必ず機器内が水になっていることを確認してから水抜き栓を開けてください。  
※高温の湯で、ヤケドの恐れがあります。

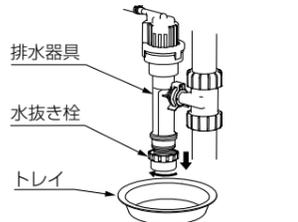
- ⑥逃し弁ピンを立てる。
- ⑦給水口の水抜きボタンを押す。
- ⑧エアチャージ栓を開け、排水する。  
水抜き栓を開けてからエアチャージ栓を開けてください。  
※水抜き栓を閉めた状態で開けるとエアチャージ栓から水が出てきます。



- ⑨排水終了後、水抜き栓、エアチャージ栓、水抜きボタン、逃し弁ピンを元にもどす。

#### ■排水器具の水抜き

排水器具の水抜き栓を開ける。  
・水抜き前には、排水器具下部に水を受けるトレイ等を準備してください。  
・水抜き後には、必ず水抜き栓を取り付けてください。



## 10. 施工後の最終確認

全ての作業完了後、引き渡す前に、下記の表にて最終確認をしてください。

確認事項	確認内容	チェック欄
電源電圧	施工した機器に合った電圧がコンセントに供給されているか	
止水栓	必要別売部品の当社フィルター付止水栓が施工されているか	
排水器具	必要別売部品の排水器具が施工されているか	
漏水	内部の配管・タンクや配管接続部から漏水がないか	
流量	水栓の施工説明書に合った流量になっているか (※流量が少ない場合は、フィルター、ストレーナーの掃除をする)	
保証書	必要な内容を記載したか	

確認後、取扱説明書、施工説明書、排水用ビニールホース（透明）とともに、フィルター付止水栓の開閉工具をお客さまにお渡しください。

### 株式会社 LIXIL

#### お問合せ先

お客さま相談センター商品相談窓口

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)